



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション  
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	719	6.5	67		66		18	
29年3月期第1四半期	769	3.4	84		82		81	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 60百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 95百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	4.45	
29年3月期第1四半期	18.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,419	5,474	85.3
29年3月期	6,593	5,838	88.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,474百万円 29年3月期 5,838百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,690	0.2	85	227.4	88	210.7	52		12.23
通期	3,554	2.9	344	91.5	350	89.8	206	228.8	48.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	4,536,000 株	29年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	401,212 株	29年3月期	250,712 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	4,225,750 株	29年3月期1Q	4,346,826 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に概ね緩やかに回復しました。しかし、中小企業を中心とする人手不足への懸念や、米国のトランプ政権の政策運営など海外政治情勢の不透明感から景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、顧客の学習塾選別の目がさらに厳しくなっており、資本・業務提携等の動きが続いております。大学入試制度改革や教材の電子化等が進んでおり、新たな入試ノウハウや教材化等の対応を迫られております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として理科実験授業や農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。また、インターネットを活用した会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高7億19百万円(前年同期比50百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業損失67百万円(前年同期は営業損失84百万円)、経常損失66百万円(前年同期は経常損失82百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失81百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は6,065名(前年同期比1.3%増)となりました。この結果、売上高は4億77百万円(前年同期比10百万円増)となり、セグメント損失は45百万円(前年同期はセグメント損失54百万円)となりました。

#### (スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、子会社である株式会社日本体験センターを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は8,097名(前年同期比20.7%減)となり、売上高は1億45百万円(前年同期比45百万円減)、セグメント利益は2百万円(前年同期比14百万円減)となりました。

#### (飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は56百万円(前年同期比5百万円減)、セグメント損失は18百万円(前年同期はセグメント損失14百万円)となりました。

#### (その他)

バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は40百万円(前年同期比10百万円減)、セグメント損失は6百万円(前年同期はセグメント損失32百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は53億5百万円(前連結会計年度末比92百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が94百万円減少したことによるものであります。

### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は11億13百万円(前連結会計年度末比82百万円減)となりました。

これは主に、投資その他の資産が86百万円減少したことによるものであります。

### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は8億30百万円(前連結会計年度末比2億4百万円増)となりました。

これは主に、その他(前受金)が1億10百万円増加したことと、短期借入金が60百万円増加したことによるものであります。

### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億14百万円(前連結会計年度末比15百万円減)となりました。

これは主に、繰延税金負債が17百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は54億74百万円(前連結会計年度末比3億63百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億90百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が1億32百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、主力事業であるスポーツ事業の平均生徒数実績が、予想比367名減少(△4.3%)と予想を下回る水準で推移いたしました。費用面については、コスト削減に努め、昨年対比減少しておりますが、連結売上高及び連結営業利益等は予想を下回る水準となりました。なお、平成29年6月29日に開示した投資有価証券売却益(特別利益)の計上について、見込額76百万円のうち、当第1四半期連結累計期間中に、65百万円を計上しております。

第2四半期以降、生徒数増加のためのインターネット活用を含めた各種対策や講習会の販売強化等の対策を図るとともに、コスト削減に努めることにより、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、共に、前回公表数値と同額を予想しておりますが、投資有価証券売却益(特別利益)の計上を含め、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,135,268	5,041,149
受取手形及び売掛金	15,858	14,071
商品及び製品	113,158	99,316
原材料及び貯蔵品	13,967	12,818
その他	119,313	138,083
流動資産合計	5,397,566	5,305,440
固定資産		
有形固定資産	331,359	331,841
無形固定資産	35,846	39,203
投資その他の資産	828,922	742,790
固定資産合計	1,196,128	1,113,835
資産合計	6,593,695	6,419,275
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,069	22,855
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	36,868	12,194
賞与引当金	55,737	94,404
その他	248,635	390,632
流動負債合計	625,310	830,087
固定負債		
退職給付に係る負債	76,018	77,579
資産除去債務	16,244	17,325
繰延税金負債	24,657	6,812
その他	12,803	12,543
固定負債合計	129,723	114,261
負債合計	755,033	944,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,758,767	5,568,540
自己株式	△238,853	△370,992
株主資本合計	5,762,314	5,439,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,920	17,276
為替換算調整勘定	18,426	17,701
その他の包括利益累計額合計	76,347	34,978
純資産合計	5,838,661	5,474,926
負債純資産合計	6,593,695	6,419,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	769,397	719,175
売上原価	599,412	546,529
売上総利益	169,985	172,645
販売費及び一般管理費	254,013	240,238
営業損失(△)	△84,028	△67,592
営業外収益		
受取利息	248	258
受取配当金	1,488	1,701
受取賃貸料	469	419
その他	534	253
営業外収益合計	2,741	2,633
営業外費用		
支払利息	858	854
投資有価証券評価損	—	711
その他	44	1
営業外費用合計	902	1,567
経常損失(△)	△82,189	△66,526
特別利益		
投資有価証券売却益	—	65,884
特別利益合計	—	65,884
特別損失		
固定資産除却損	748	1,278
特別損失合計	748	1,278
税金等調整前四半期純損失(△)	△82,937	△1,920
法人税等	△1,732	16,894
四半期純損失(△)	△81,205	△18,815
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,205	△18,815

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△81,205	△18,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,623	△40,643
為替換算調整勘定	△2,335	△725
その他の包括利益合計	△13,959	△41,368
四半期包括利益	△95,164	△60,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,164	△60,184
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	466,842	191,069	61,597	719,510	49,887	769,397	—	769,397
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,080	1,080	△1,080	—
計	466,842	191,069	61,597	719,510	50,967	770,478	△1,080	769,397
セグメント利益又 は損失(△)	△54,037	16,885	△14,448	△51,599	△32,428	△84,028	—	△84,028

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	477,448	145,729	56,590	679,767	39,407	719,175	—	719,175
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	818	818	△818	—
計	477,448	145,729	56,590	679,767	40,225	719,993	△818	719,175
セグメント利益又 は損失(△)	△45,125	2,095	△18,101	△61,130	△6,461	△67,592	—	△67,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。